

## ～ JA 富山市米品質向上生産運動展開中 ～

コシヒカリの生育は、平年並みとなっています。  
今後、高温で推移すると見込まれるため、

- ① 生育ステージにあわせた**水管理**
- ② 病虫害防除の徹底
- ③ **適期刈取と適正な乾燥調製**

により、高品質なJA 富山市米に仕上げましょう！

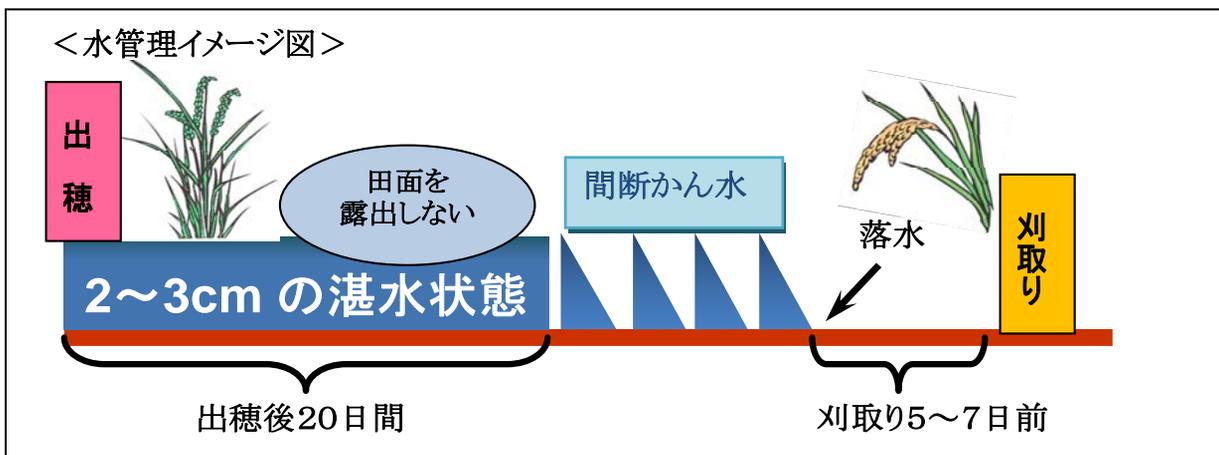
### コシヒカリの幼穂形成期と出穂期

年度	田植時期	幼穂形成期	出穂期
29年	5月13日	7月12日	(8月2日)
28年	5月12日	7月10日	7月30日
平年 (H19～28)	5月11日	7月11日	8月3日

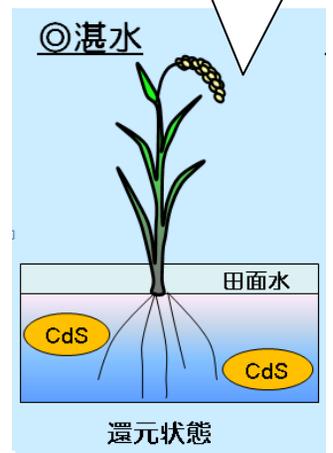
※富山市農協管内コシヒカリ生育基礎ほ(7カ所)の平均値

## 1 水管理の徹底で、稲体活力維持！

- (1) 出穂後20日間は田面が露出しない程度の湛水状態を保ちましょう。  
また、適宜、水の入れ替えも行いましょう。
- (2) 出穂20日後から刈取りの5～7日前までは「**間断かん水**」とし、適正な土壌水分を維持しましょう。
- (3) フェーン現象が予想される場合は、事前に「**入水**」しましょう。



湛水管理で、カドミウムの吸収抑制も図ります！



## 2 基本防除を徹底し、病虫害による収量・品質低下を防止！

本年もカメムシ類多発注意報が発令(6月22日付)されています。  
今後の高温により出穂が早まる場合があるので、ほ場ごとに  
出穂状況を確認し、適期防除に努めましょう。

斑点米カメムシ発生状況調査(H29.7.24 富山市農協管内の早生ほ場 11カ所)

	発生頭数(頭/20回振)			発生地点率 (%)
	アカヒゲ	アカスジ	トゲシラ	
H29	2.5	0.8	0.0	90.9
平年	1.8	0.8	0.3	77.1

※平年は H19～28 の平均値

※粉剤防除体系の場合

防除時期の目安	中生(コシカリ)	晩生(てんこもり)	使用薬剤名及び散布量	対象病虫害
穂揃期	8/5～7	8/10～12	ラブサイドキラップ粉剤DL 4kg/10a	いもち病 ウンカ・カメムシ類
傾穂期	8/12～14	8/17～21	スタークル粉剤 DL 3kg/10a(収穫7日前まで)	ウンカ・カメムシ類

※穂揃期と傾穂期の防除間隔の目安は7日間です。

間隔が10日以上になると防除効果が劣るので注意しましょう。

※本田内のノビエやホタルイは、カメムシ類の侵入や斑点米の被害を助長するので、除草を徹底してください。

※薬剤は、使用基準等を厳守し、**周辺の作物に飛散しないよう十分注意して**防除してください。



アカヒゲ ホリド・リカスミカ  
●体長 5～6 mm  
●寄主植物  
イネ科植物  
(メヒシバ、ノビエなど)



アカスジ カスミカメ  
●体長 5～6 mm  
●寄主植物  
イネ科植物  
カヤツリグサ科植物  
(ホタルイなど)

安全は知識と意識と心がけ

農作業中の熱中症に注意しましょう！

